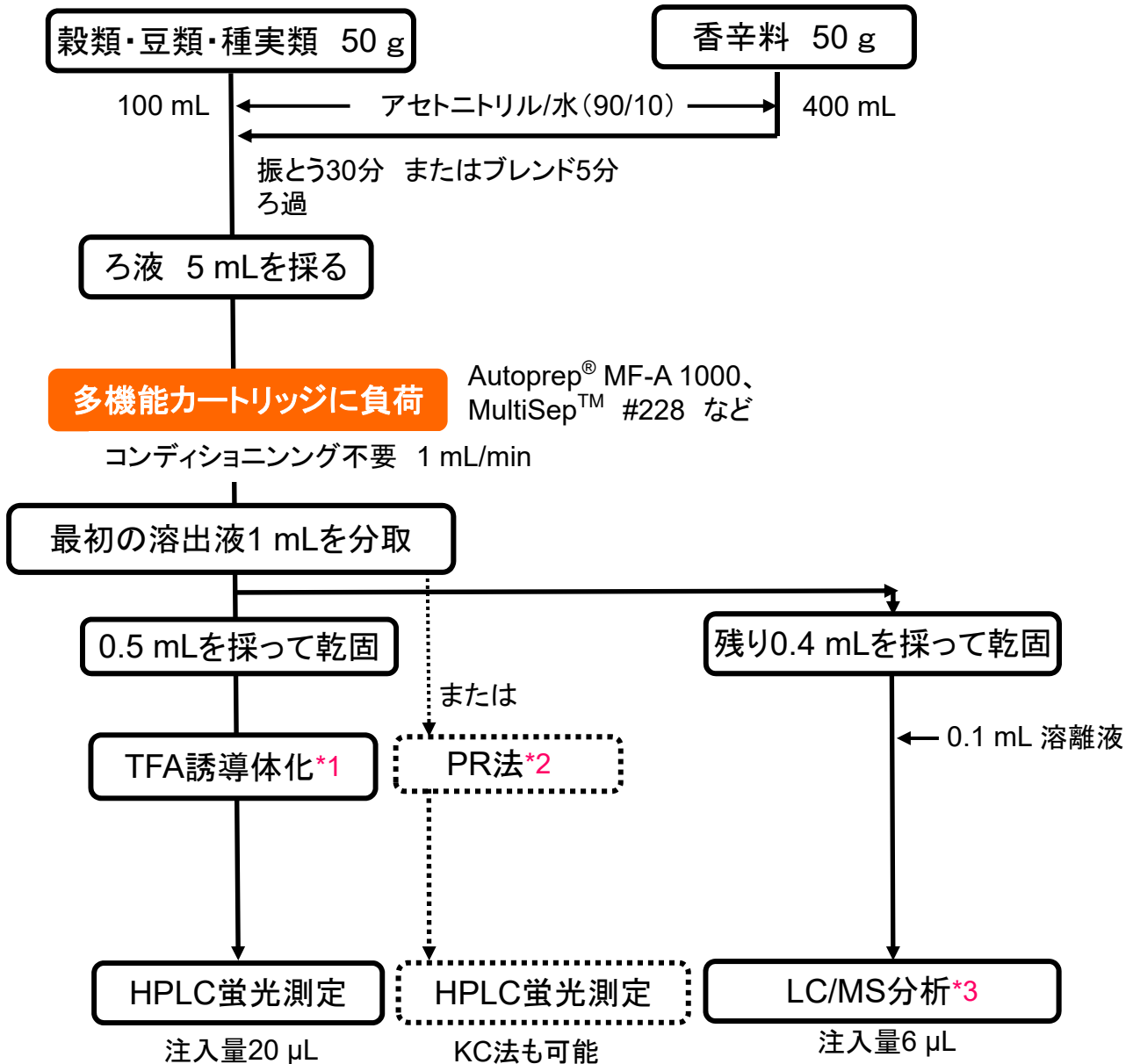


## アフラトキシン前処理用多機能カートリッジ(H14年厚生労働省通知法)

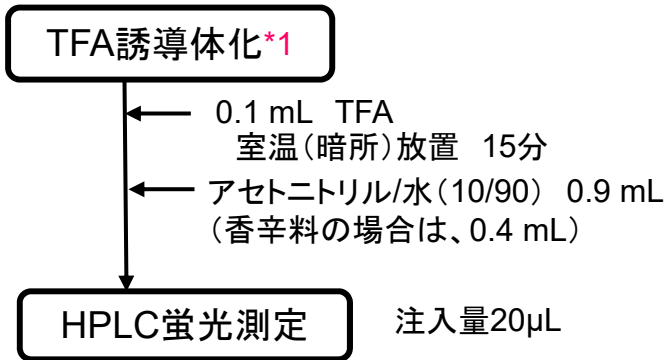
1. 厚生労働省 食監発第0326001号(平成14年3月26日付け)  
「多機能カートリッジを用いる定量分析方法」
2. 穀類・豆类・種実類中のアフラトキシン前処理にはMultiSep™#228、MycoSep®#226、MycoSep®#228、Autoprep® MF-A 1000が好適
3. 香辛料中のアフラトキシン前処理には、MultiSep™#228、Autoprep®MF-A1000が好適

### ■プロトコル

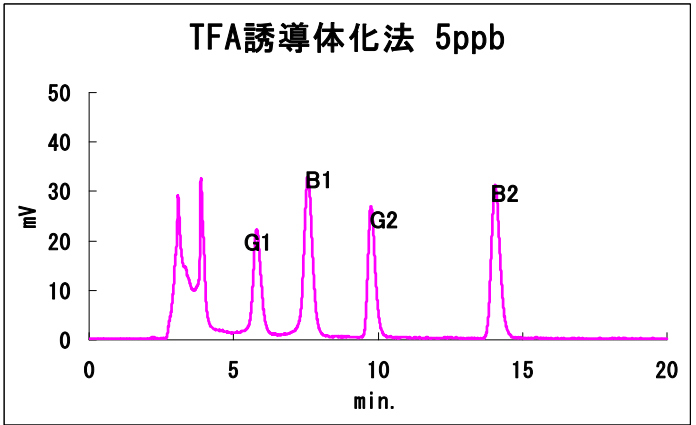
多機能カートリッジでは、親水性の高いカビ毒が先に溶出され、疎水性の高い妨害成分は遅れて溶出されます。通常のHPLC分析と同じ分離原理が働いていますから、ゆっくりした通液速度が、より良い分離効果(クリーンアップ)を実現します。



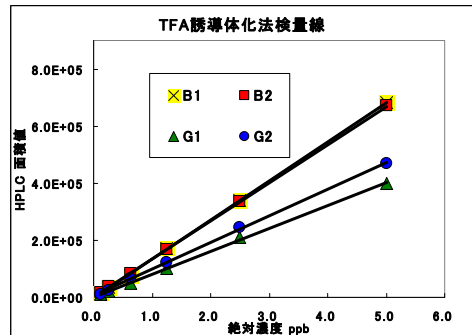
**\*1 TFA誘導体化-HPLC/蛍光測定**



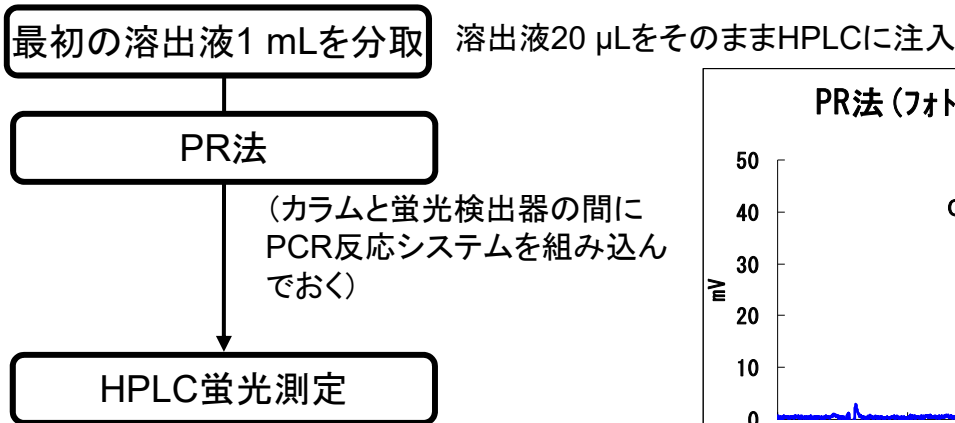
Shodex Silica C18M 4E (4.6 mm × 250 mm)  
 アセトニトリル:メタノール:水=1:3:6  
 1 mL/min 40 °C  
 Ex: 365 nm、Em: 450 nm



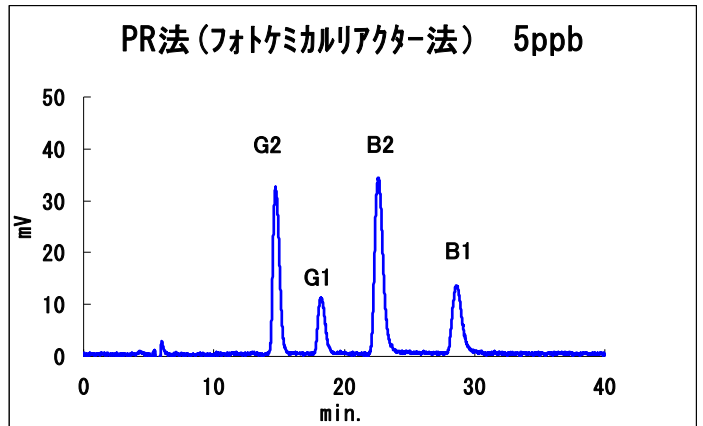
誘導体化法により溶出順序は変わります。



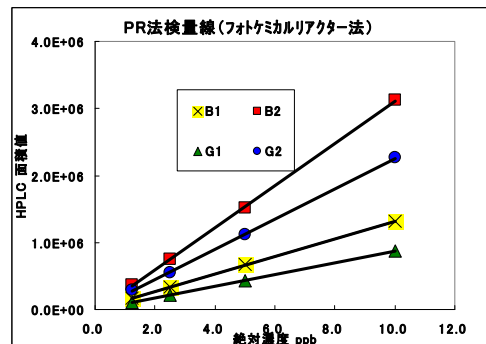
**\*2 フォトケミカルリアクターによる蛍光誘導体化 (PR法)-HPLC蛍光測定**



Shodex Silica C18M 4E (4.6 mm × 250 mm)  
 メタノール:水=4:6  
 0.7 mL/min 40 °C  
 Ex: 365 nm、Em: 450 nm



誘導体化法により溶出順序は変わります。



\* コブラセル法(KC法)もHPLC測定後にポストカラムで誘導体化を行う。

**\*3 LC/MS測定**

Shodex Silica C18M 2D (2.0 mm × 150 mm)  
 アセトニトリル:メタノール:10 mM酢酸アンモニウム  
 =2:6:15  
 0.2 mL/min 40 °C